

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月22日(木)

事務事業		検査事務		担当課	契約検査課	担当係	検査係	管理番号	8211	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	地方自治法第234条の2、公共工事の品質確保の促進に関する法律第7条、深谷市検査事務規則、深谷市検査実施要領、深谷市工事等成績評定要領、深谷市建設工事中間検査実施要領ほか					
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市が締結した契約について、地方自治法第234条の2第1項の規定に基づく給付の完了を確認するために必要となる検査及び、公共工事の品質確保の促進に関する法律第7条に基づく評価を行う。また、当課所掌以外の契約に係る検査事務についても、適正化及び検査行為の徹底を図る。								
目的 ※何のために		目的物が契約図書に定められた品質等を確保していることを確認し、評価を契約者の適正な選定の確保に反映させることを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		市が締結した契約を対象とする。								
手段 ※どのように		契約検査課職員（専任検査員）及び補佐職を中心に配置した兼務職員（指定検査員）により検査を実施する。また、契約金額が500万円を超える工事等の検査にあつては、原則、成績の評定を行う。								
成果 ※何を求めるか		契約金額が130万円を超える工事等の検査完了後、検査の結果を契約検査課長へ報告し、検査証明書を主管課長へ交付する。また、契約金額が500万円を超える工事等にあつては、契約者へ成績評定結果を通知する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	検査事務費	87,820
本事業の 主な業務		・ 概要書の收受					・			
		・ 指定検査員体制の運営業務					・			
		・ 検査					・			
		・ 成績評定					・			
		・ 研修					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
年度別計画		・ 検査・成績評定	・ 検査・成績評定	・ 検査・成績評定				
事業費	予算（現額）	162,000	116,000	124,000	142,000			
	決算額	68,365	87,820	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	68,365	87,820	124,000	142,000		
人件費	従事職員数（人）	2.00	2.20	1.90	1.90			
	人件費相当試算※	15,523,830	17,313,025	15,573,135	15,573,135			
総事業費試算		15,592,195	17,400,845	15,697,135	15,715,135			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	実績値の算出式		件						
	請負金額500万円を超過する工事検査数	目標値 実績値		155.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。						
	実績値の算出式								
活動指標 2	委託金額500万円を超過する委託検査数	目標値 実績値	件						
			15.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査件数については意図的に定められないため、目標値を設定できない。						
	実績値の算出式								
成果指標 1	工事成績評定結果平均点	目標値 実績値	点						
			75.60						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査の公平性を確保するため、目標値の設定は行わない。						
	実績値の算出式								
成果指標 2	委託業務成績評定結果平均点	目標値 実績値	点						
			75.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		検査の公平性を確保するため、目標値の設定は行わない。						
	実績値の算出式								
成果指標 3	成績評定65点未満の工事件数	目標値 実績値	件	0.00 2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	目標値の算定根拠/実績値の出所		著しく悪いとされる65点未満の工事件数を0件とする。						
	実績値の算出式								
		目標値 実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	契約額500万円超の工事を対象とした中間等検査を含む検査155件及び、契約額500万円超の工事に係る業務委託を対象とした完了検査15件の計170件全てについて、検査を執行した。この内、専任検査員による執行件数は156件、指定検査員による執行件数が14件である。指定検査員による検査執行は、工事13件、業務委託1件であり、ともに年度末(3月)の検査繁忙期における執行となっている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	評定平均点は工事、業務委託ともに、過去5年の傾向は上昇傾向にある。検査時、現場確認等における助言、提案の効果が一定程度得られていることが確認できる。評定点65点未満の工事は2件であり、内1件は事故による減点、他は適正な施工及び品質の証明が不十分によるとことである。引続き工事中の安全確保及び工事事務物の品質確保、品質向上にあたり、検査事務を通じて、可能な助言等取り組んでいく必要がある。
			評価者 検査係長 今井 康友

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	検査管理システムの運用、バージョンアップを含めた保守管理は外部委託をせず、直営作業により、要望改善内容等について即時かつ効率的に対応できた。また、検査情報を管理している台帳については、検査結果の集計まで効率的に行えるよう、自動参照可能な様式へ改良を行った。これらにより効率的に検査事務を行えた。
			評価者 検査係長 今井 康友

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	業務の効率化、省資源化を図るために、工事の完成図書及び業務委託の成果品等を電子データで納品が可能となるように、深谷市電子納品運用ガイドラインを作成する。
達成状況及び その効果	工事の完成図書及び業務委託の成果品等の電子データによる納品を可能とするための、深谷市電子納品運用ガイドラインを策定し、施行することができた。これにより、検査事務の効率化、資源の省力化が可能となった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	検査事務	担当課	契約検査課	担当係	検査係	管理番号	8211
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		専任検査員、指定検査員において執行すべき検査については、執行体制を整備することで無理なく全て執行することができた。検査管理システムの改修・保守管理についても直営作業により効率的かつ経済的に運用できている。今後は、効率的な監督業務のために、建設現場の遠隔臨場等について検討していく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	契約検査課長 飯野 正男				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	現場臨場の移動に伴う所要時間、車両の燃料等の省力化に貢献することを狙いとし、建設現場の遠隔臨場に関する要領の作成を進める。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	請負金額 500万円を超過する工事検査数
			
区分	活動指標 2	指標名	委託金額 500万円を超過する委託検査数
			